

あ げ お 議会 だより

あなたにほんきをあくるまち



上尾市

主な内容

審議された主な議案	2ページ
委員会審査、討論	3～6ページ
提出議案とその結果	7～8ページ
今議会で決まった人事	8ページ
市政に対する一般質問	9～15ページ
委員会活動、意見書	16ページ



上尾市議会は、新しい顔ぶれでスタートをきりました。
市民生活のより一層の向上・発展を目指します。
上尾市議会議員30人、よろしくお願ひします。

第 **176** 号
平成28年(2016)
5月号

発行 / 上尾市議会
編集 / 議会報編集委員会
〒362-8501
埼玉県上尾市本町 3-1-1
電話 048-775-9467

Pick Up

平成28年3月定例会 審議された主な議案

3月定例会で審議された議案は、市長提出議案55件、議員提出議案8件の計63件で、57件を原案のとおり可決・同意し、6件を否決しました。

議案第8号 平成28年度上尾市一般会計予算

平成28年度上尾市一般会計予算のポイント

誰もが「住み続けたい」「住んでみたい」と思われるまちの実現に向け、5分野に重点

1 市民の夢を応援！あらゆる世代が輝けるまちへ

⇒新たなビジネスチャレンジ、妊娠・出産を望む人、健康づくりを応援

2 ますます便利に、魅力あるあげおへ

⇒平成29年4月(予定)からコンビニで住民票などの取得が可能に、官民共同でシティセールスを展開

3 応援します子育て世代、強化する子育て環境

⇒保育園・幼稚園などの多子世帯の保育料負担軽減、全公立保育所に午睡用ベッドを設置、原市保育所複合施設が完成

4 教育・生涯学習環境の充実

⇒特別支援学級補助員を増加、通級指導教室を新たに整備、新図書館複合施設整備

5 安全・安心を確保し、住みよいまちへ

⇒河川に監視カメラを設置、道路照明灯のLED化、電線地中化整備

平成28年度の予算

会計名	予算額	
一般会計	621億4000万円	
特別会計	国民健康保険特別会計	272億8400万円
	公共下水道事業特別会計	51億 320万円
	介護保険特別会計	134億 1980万円
	後期高齢者医療特別会計	23億9800万円
企業会計	水道事業会計	62億3600万円

議案第31号 上尾市児童発達支援センターつくし学園条例の一部を改正する条例の制定について

児童発達支援を行う施設として、つくし学園分室を設置

発達支援を必要とする児童の通所先を提供するため、発達支援相談センター内（本町地内）につくし学園分室を設置



※グリドル
直火によって加熱したプレートによって、主として伝導熱で調理する機器

議案第37号 上尾市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について

「ガスグリドル付こんろ」について離隔距離を設定

「ガスグリドル付こんろ」が一般に流通するようになったことを踏まえ、安全性の確保のため、新たに離隔距離（設備と壁などの間に設けるべき火災予防上安全な距離）に関する規定を整備

※その他の議案名や議決結果については、7～8ページ「平成28年3月定例会提出議案とその結果」をご参照ください。

委員会審査から

総務、都市整備消防、文教経済、健康福祉の各常任委員会は、付託された議案の審査を行いました。

以下、審査の過程で取り上げられた質疑の中から主なものについてお知らせします。

都市整備消防常任委員会

当初予算 (仮) 戸崎東部公園を整備

〈メモ〉 (仮) 戸崎東部公園整備を進めるための土地購入費や設計委託料などを計上。

委員 工事費は36ホールを想定した造成か伺いたい。

答 複数年度に分けて造成などを行うので、平成28年度については暫定開業に向けて18ホールの造成を考えている。

委員 昨年開催した都市整備消防常任委員会の所管事務調査では、自然保護について要望が出されていたが、その後の対応について伺いたい。

答 自然保護の関係については、今後、環境保護団体と話し合いをしていく予定である。

委員 集客数の見込みと周辺道路の見通しについて伺いたい。

答 集客数は年間約4万人を見込んでいます。また公園内に鴨川側道を同時に整備し、北側の中橋付近から誘導する予定である。

※採決終了後、浦和三郎委員（上尾政策フォーラム）から付帯決議案が提出されましたが、賛成少数で否決されました。

提出された付帯決議の内容抜粋

(仮) 戸崎東部公園整備事業の予算執行に当たり、平成29年度は18ホールで暫定開業し、利用者数や収支状況を見極めた後に、残りの18ホールの事業を進めるか否かの判断を行うこと。

総務常任委員会

補正予算 情報発信モニターを設置

〈メモ〉 JR上尾駅ペDESTロアンデッキに情報発信モニターを設置する工事費を計上。

委員 情報発信モニターの設置場所とモニターの内容について伺いたい。

答 モニターは、JR上尾駅東口のペDESTロアンデッキの柱に設置する予定である。市のPRムービー

ビーやイベントのお知らせ、商店街のPR動画を流すことを考えている。



市のPRムービー

文教経済常任委員会

補正予算 焼却灰処分・運搬委託料を減額

〈メモ〉 西貝塚環境センターにおける焼却灰等処分・運搬委託料を減額計上。

委員 最終処分事業における8000万円の減額について、その理由を伺いたい。

答 平成26年10月から実施している不適正ごみ搬入規制により、一般事業系ごみ搬入量が51%減っており、焼却灰および不燃性残渣処分費、運搬経費の減少が見込まれたためである。

委員 事業系ごみと家庭系ごみの区別はどのように行っているのか。

答 一般的に会社と家庭で区別している。

委員 平成27年度末までにごみを1日1人当たり81.5gまでにする目標は達成しているのか。

答 市民1人当たりのごみ排出量は、平成26年度の実績で紙と布、地域リサイクルを除き762gで目標値を達成している。

当初予算 新図書館複合施設整備事業

〈メモ〉 新図書館複合施設整備事業にかかる用地購入費、実施設計委託料などの予算を計上。

委員 現図書館本館が移転した場合、現在地に図書館機能が残るのか伺いたい。

答 現図書館本館の後利用に関しては、市全体での検討が必要である。市民の皆さんから要望をいただいているので、上尾地区の分館としての機能を残していきたいと考えている。

委員 用地購入費の積算根拠について伺いたい。

答 財産購入費の予算を計上す

る際、不動産鑑定士に概算見積もりを依頼し、基準地価や取引事例も参考にして算出した。

健康福祉常任委員会

**当初予算
全市立保育所に午睡
用ベッドを導入**

〈メモ〉子育て環境の整備として、保育所入所児童の健康面、衛生面の充実を図ることを目的に、全ての公立保育所に全児童1380人分の午睡用ベッドを購入する予算を計上。

委員 いつからベッドの導入を検討し始めたのか。また、その経緯について伺いたい。

答 公立保育所では、アタマジラミやノロウイルスなど、さまざまな感染症が毎年発生している。そのため、以前から集団保育における衛生管理対策の充実が必要であると考えていた。今回、使い道を子育て支援にと指定されたふるさと納税寄付金をいただいた中で、午睡用ベッドを導入したいと考え、検討した。

委員 入所から卒所まで同じベッドを使ってほしいとの保護者の要望を伺っている。どのような運用を考えているのか伺いたい。

答 ベッドは、3歳未満と3歳以上でサイズを分けて購入することを考えている。運用については、現場の保育所長とも相談することになるが、できればサイズに合わせて同じものを使えるように工夫したいと考えている。



午睡用ベッドでお昼寝

**市長提出議案に
対する賛成討論**

要旨

平成28年度上尾市一般会計予算については、誰もが「住み続けたい」「住んでみたい」と思われるまちの実現に向け大きく5分野に重点を置いた編成がなされた。

「市民の夢を応援！あらゆる世代が輝けるまちへ」では、まちづくりは市民が主役であり、ビジネス

チャレンジ、妊娠・出産、健康づくりの応援とあらゆる世代の市民の夢を強力に支援するこれらの事業は、人口減少社会という、とかく暗くなりがちな社会において、市民の笑顔につながるものであり高く評価する。

また、不妊に悩む夫婦を経済面で支援し、男性不妊治療費助成金の創設や妊活カウンセラーの配置、さらに母子保健コーディネーターの配置など、妊娠から出産までのサポートの強化などは大きく評価される。

「ますます便利に、魅力あるあげおへ」では、ふるさと納税制度のさらなる推進や、女性や子育て世代をターゲットにしたシティセールの展開により、上尾の魅力を発信されることが期待される。

「応援します子育て世代、強化する子育て環境」では、保育園・幼稚園などの多子世帯の保育料の負担軽減や、つくし学園の定員を拡充する分室整備は、大きく評価される。さらに、待機児童対策としての民間認定こども園の新設支援や、感染症の拡大を予防する午睡用ベッドの県内初の設置などにより、子育て支援が大きく前進する。「教育・生涯学習環境の充実」で

は、全小学校で特別支援学級の授業が開始されるとともに、通級指導教室が東西2カ所となり充実される。

新図書館は、青少年センターとの複合施設として計画され、市民が集い、活動できる拠点としての相乗効果が期待される。現図書館に一部機能を残すなど、充実した図書館運営に当たること、市民に優しく利用しやすい図書館を目指している。

「安全・安心を確保し、住みよいまちへ」では、被害を未然に防ぐために河川に監視カメラを設置することや、市内全域の道路照明灯を2年かけてLED化することにより、15年間で電気料約2億5000万円ものコストが削減される。

いずれも島村市長の市政運営に対する熱き思いが反映されたものであり、全てに優しい思いやり市政の実現に向けた重点事業を高く評価するもので賛成する。

**市長提出議案に
対する反対討論**

要旨

平成27年度上尾市一般会計補正予算(第5号)について、マイナンバー制度は国民監視を強化し、社会保障費の抑制と削減を進め、

個人情報情報を危険にさらすので、この制度に関わる全ての予算に反対する。

同事業について、住民票が遠方でも取れることと引き換えに何を失うのか、市民の個人情報情報を考慮して検討すべきと考える。

文化センターの耐震とリニューアルが平成28・29年度の総額で25億6700万円計上されているが、何を基に積算しているのか、内容や図面も知らないで審議できるものでなく、責任を持ってないので反対する。

教育費が減額計上されたが、給食用の箸など保護者負担にしないで予算を使うべきと考え反対する。

また、国民健康保険特別会計繰出金の減額補正と平成27年度上尾市国民健康保険特別会計補正予算について、法定外繰入金は減額せず基金に積み、平成28年度からの国民健康保険税の引き下げや減免制度の充実に使うべきと考え反対する。

(仮) 中央図書館整備費1190万2000円の減額補正は、入札が遅れ、基本設計が示されないまま審議することや、環境影響評価を執行しなかった点は、計画のずさんさを裏付けるもので認められ

ない。

平成28年度上尾市一般会計予算について、軽自動車税の増税は市民負担を増やすものであり、反対する。

マイナンバー制度にかかる補助金と平成28年度上尾市国民健康保険特別会計予算、平成28年度上尾市介護保険特別会計予算、平成28年度上尾市後期高齢者医療特別会計予算における同制度関連の予算は、徴税の強化や社会保障給付を抑制し、個人情報情報の漏えいなど国民に不安や負担をもたらすものであるため、反対する。

自衛官募集事務委託費は、自衛隊募集に自治体が積極的に関わらべきでないと考え、反対する。

行政不服審査制度運営事業と、その関連議案(議案第14号、15号、16号、17号、27号、28号 ※議案名は7ページ参照)については、「異議申し立て」を廃止し、審査請求に一元化するものであり、行政不服審査会委員は市長任命であることから、審理の公平性・中立性が担保されないため反対する。

同議案について、市民の権利を狭めるので反対する。

同和関連の予算について、同和対策事業特別措置法は2002年

に失効しているが、同和関連団体の交渉に各課が出席し、補助金の計上など予算措置がされている。同和対策事業の終結を求め、反対する。

国民保護計画推進事業について、国民総動員の架空の武力計画で、防災行政無線・防災メールなどを活用し有事に備えるきな臭い雰囲気をつくり、利用される危険があるため反対する。

コンビニエンスストアにおける住民票等交付事業について、コンビニ交付という利便性を理由に、個人番号カードの普及拡大を誘導し、持ち歩きによる紛失で情報漏えいや犯罪などの危険性を高めるものであることから反対する。

原市保育所複合施設整備事業について、原市団地保育所との統合を前提に進められており、待機児童が多い中、現在の原市保育所と原市団地保育所の入所定員を10人下回することは待機児童解消と逆行するので反対する。

農業委員会運営事業における報酬と、関連議案(議案第21号、22号 ※議案名は7ページ参照)について、市長が農業委員を選ぶことは、農民の代表機関としての農業委員会の権限を奪うものである。

★市議会ホームページがリニューアル

市議会ホームページが新しくなりました。議会日程や議案、一般質問の内容、議会中継や会議録など市議会に関する情報を掲載しています。どうぞご利用ください。



⇒議会事務局 (TEL775-9467)
<http://www.city.ageo.lg.jp/site/shigikai/>

その農業委員が選ぶ農地利用最適化推進委員の報酬を決める条例と予算であるので反対する。

(仮) 戸崎東部公園整備事業費について、パークゴルフ場を36ホールにすることを前提にした予算であり、地区公園と位置付けながら地区住民から意見要望をよく聞き合意を得るプロセスが不十分で、自然環境保護の観点からも、検討すべきであるので反対する。

学力向上支援事業について、子どもたちの学力向上を保証するのであれば、テストをするより、いじめや不登校の解決に大きな役割を果たす少人数学級や学級支援員

を増やすことに予算を計上するべきと考え反対する。

新図書館複合施設整備事業について、事業スケジュールだけ決まっていますが、平成29・30年度の予算全体が示されていない。青少年センターや教育センターが今後どうなるかはつきりしていない中、新図書館だけを先行して進める強引な押し進め方に問題がある。最適化債にかかわらず時間をかけ「市民とともに歩む」との理念を置き忘れていないか、立ち返って考えてほしい。また、地域館の開館時間の延長、資料の充実などの声に応えた予算ではないので反対する。

平成28年度介護保険特別会計予算について、地域支援事業にかけると予算が2・8%であるが、さらに予算を割り、多くの事業を実施すべきと考え反対する。

平成28年度上尾市水道事業会計予算について、純利益は約2億円、現金預金は約24億円が見込まれているが、最も水を利用する一般家庭の市民への料金の引き下げは十分できると考え、反対する。

上尾市人権教育推進協議会条例の制定について、協議会に同和運動団体のメンバーがいることは、市の施策に事業継続を裏付けることにつながるため賛成できない。

農業協同組合法等の一部を改正する等の法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定については、上尾の農業を守るのは農家であり、農家と消費者との連携であると考え、ことから、農業者の権利が狭められる本議案に反対する。

財産の取得について、この土地は36年間放置され、その結果、支払子を含む合計8352万9916円が市民負担となっている。土地開発公社が存続していることで膨大な市民負担が発生していることから反対する。

新図書館複合施設整備事業に対する修正案

平成28年度上尾市一般会計予算に対する修正動議（発議者…上尾

政策フォーラム所属議員6人）が提出され、閉会日に採決の結果、賛成少数で否決されました。

〈提案説明〉新図書館複合施設整備事業にかかる予算を全額削除する修正案を提出する。提案理由は主に3点ある。

1つ目は、平成28年度予算案の審議に関わる基本設計の概略や図面などが提示されず、議会に對し十分な説明がない。

2つ目は、平成27年12月定例会で補正予算として計上された土地買収に係る不動産鑑定や物件調査委託について、基本設計と同様、成果品が提示されていない。

3つ目は、市民に対する情報提供や説明が十分にされていない。過去に市民や中央図書館建設懇話会から意見を聴取した（仮称）上尾市中央図書館基本構想の内容が基本設計にどのように反映されているのか、市は説明する責任があると考え。

新図書館建設は市民にとってさまざまな意見がある非常に高心の高事業であり、巨額の税金を使う大規模事業である。十分な情報提供、説明会を行い、多くの市民の方々の理解を得ながら、丁寧にこの事業を進めていただきたい。

〈反対討論〉新図書館複合施設の基本設計の内容が議会に對して十分な説明がないとのことであるが、本定例会で詳細な説明があり、また、分館を現本館の跡地に残すことを検討するとの答弁があった。新図書館は、蔵書の充実を図ることと市民のための図書機能の充実が期待され、複合施設とすることで乳幼児から高齢者までが生涯を通じて学び交流し、また青少年の活動が充実する生涯学習の場が提供され付加価値のある新図書館であると高く評価できる。

不動産鑑定と物件調査委託業務の成果品が議会に示されていないとのことであるが、平成28年3月25日までの業務委託であり、現在予算執行中で、平成28年度からの用地交渉に必要となることから、現時点で成果品を要求することは難しいと判断する。

市民に対する情報提供や説明が不十分とのことであるが、市は最終的な基本設計がまとまった段階で施設概要を報告すると表明している。建設に必要な用地買収に関する費用や実施設計業務などの費用であり、順次整備計画を進めていくことが必要であると強く認識しており、修正案に反対する。

平成28年3月定例会提出議案とその結果

市長提出議案（55件）

- 議案第2号 平成27年度上尾市一般会計補正予算(第4号)
 議案第3号 平成27年度上尾市一般会計補正予算(第5号)
 議案第4号 平成27年度上尾市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
 議案第5号 平成27年度上尾市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)
 議案第6号 平成27年度上尾市介護保険特別会計補正予算(第3号)
 議案第7号 平成27年度上尾市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
 議案第8号 平成28年度上尾市一般会計予算
 議案第9号 平成28年度上尾市国民健康保険特別会計予算
 議案第10号 平成28年度上尾市公共下水道事業特別会計予算
 議案第11号 平成28年度上尾市介護保険特別会計予算
 議案第12号 平成28年度上尾市後期高齢者医療特別会計予算
 議案第13号 平成28年度上尾市水道事業会計予算
 議案第14号 上尾市行政不服審査会条例の制定について
 議案第15号 上尾市情報公開条例及び上尾市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について
 議案第16号 上尾市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例の制定について
 議案第17号 上尾市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定について
 議案第18号 上尾市人権教育推進協議会条例の制定について
 議案第19号 上尾市職員の退職管理に関する条例の制定について
 議案第20号 議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 議案第21号 上尾市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 議案第22号 農業協同組合法等の一部を改正する等の法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
 議案第23号 上尾市職員の給与に関する条例及び上尾市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 議案第24号 市長及び副市長の給与等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
 議案第25号 地方公務員法及び地方独立行政法人法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定について
 議案第26号 上尾市職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 議案第27号 行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
 議案第28号 上尾市行政不服審査法関係手数料条例の制定について
 議案第29号 上尾市建築基準法関係手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
 議案第30号 上尾市長期優良住宅の普及の促進に関する法律関係手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
 議案第31号 上尾市児童発達支援センターつくし学園条例の一部を改正する条例の制定について

- 議案第32号 上尾市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
 議案第33号 上尾市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
 議案第34号 上尾市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例の制定について
 議案第35号 上尾市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 議案第36号 上尾市建築審査会条例の一部を改正する条例の制定について
 議案第37号 上尾市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について
 議案第38号 財産の取得について
 議案第39号 埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合の規約の変更について
 議案第40号 市道路線の認定について
 議案第41号 市道路線の廃止について
 議案第42号 市道路線の認定について
 議案第43号 市道路線の認定について
 議案第44号 公平委員会委員の選任について
 議案第45号 農業委員会委員の任命について
 議案第46号 農業委員会委員の任命について
 議案第47号 農業委員会委員の任命について
 議案第48号 農業委員会委員の任命について
 議案第49号 農業委員会委員の任命について
 議案第50号 農業委員会委員の任命について
 議案第51号 農業委員会委員の任命について
 議案第52号 農業委員会委員の任命について
 議案第53号 農業委員会委員の任命について
 議案第54号 農業委員会委員の任命について
 議案第55号 農業委員会委員の任命について
 議案第56号 教育委員会教育長の任命について

議員提出議案（8件）

- 議案第1号 軽減税率の円滑な導入に向け事業者支援の強化などを求める意見書
 議案第2号 児童虐待防止対策の抜本強化を求める意見書
 議案第3号 介護報酬の引き上げを求める意見書
 議案第4号 労働時間と解雇の規制強化を求める意見書
 議案第5号 給付制奨学金制度の創設等を求める意見書
 議案第6号 子ども医療費助成に係る国保の国庫負担減額調整措置の廃止を求める意見書
 議案第7号 消費税増税の中止を求める意見書
 議案第8号 安全保障関連法の廃止を求める意見書

※ 議決結果については8ページの「本会議において賛否が分かれた議案」と合わせてご覧ください。

市政に対する
一般質問

ここが問題
そこが
聞きたい

Q&A

3月定例会の一般質問は、3月9・10・11・14日の4日間行われ、20人の議員が市政全般48項目にわたって市当局の見解を求めました。また、4日間で351人の皆さんが議会を傍聴しました。各議員の一般質問の中から一部を掲載しました。詳細は市議会のホームページをご覧ください(5月下旬公開)。

◆政策



上尾政策フォーラム
尾花 瑛仁

上尾市で「二元代表制」
はどう機能しているか

問 自治体は二元代表制で運営されている。議会と市長は適度な緊張を保つべきだが、全国には、議院内閣制でないのに「与党・野党」という言葉が使われるなど、根幹を揺るがす例もある。当市で制度はどう機能しているか、新任議員として所見を伺いたい。

答 直接選挙で選ばれた首長と議会が均衡を保ち、健全な関係を構築する事が、市民の意思を反映した自治体運営に繋がるが、健全な関係が崩れた場合、運営の停滞を招くと考えている。双方が機能を



公明党上尾市議員
前島 るり

街づくりという観点に基
づいた新図書館建設を

問 市の中央拠点であるJR上尾駅周辺は、商業施設や公共施設な

尊重し合い、健全な関係を保つことが不可欠である。本市では、それぞれ市民の負託を担う中、議員各位の協力の下、二元代表制が適正に機能し、しっかりと自治体運営が図られていると認識している。私も執行機関は説明責任を果たすべく、議会への適切な行政情報の提供を心掛けると同時に、大きな責任を持ってその執行に当たっている。議会も議事機関としての役割を全うされている。

〜その他の質問〜

・安心安全なまちづくり

どがそろそろ成熟した地域であるのに対し、JR北上尾駅周辺は、駅の利用客も人口も大きく増加している成長過程の地域である。その北上尾に新図書館建設の予定があるが、市全体の街づくりという観点で、新図書館建設予定地までの公共交通の充実や周辺の歩道整備をどのように考えているか。また、青少年センターとの複合化など、新図書館に期待できる市民サービスを伺いたい。

答 新図書館への公共交通でのアクセスは、民間バスや市内循環バスぐるっとくんの運行ルート・時刻などに関係部署と検討していく。また、JR北上尾駅から上平公園までの歩道未整備区間は、現在検討中の歩行者と自転車のネットワーク構想の中で位置付けていきたい。なお、複合化により、図書館の利用を目的に来館する若者に対して、さまざまな情報を発信し、仲間づくりや地域参加の機会を提供するとともに、図書館と青少年センターが連携して事業展開し、安心な居場所として青少年が集えるよう目指していく。

〜その他の質問〜

・スポーツイベントと上尾の活性化の相乗効果について



上尾政策フォーラム
井上 茂

新図書館基本設計の説明
会開催を

問 新図書館について、建物の基本設計は一番大事な部分であり、基本的なものが全部決まってくる。そこに市民の声がどう反映されるかが重要であり、自分たちの意見が反映される過程を通じなければ愛着も湧かない。4月以降は実施設計が予定されているが、実施設計が始まると、工事を実施するための図面ができる。基本設計から実施設計までの期間で市民の意見を聞く説明会を開催していただきたいが、見解を伺いたい。

答 新図書館については、これまでのパブリックコメントでもさまざまな意見をいただいている。基本設計でまとまった施設概要を市民の皆さんに報告し、それに対していただいた意見から、反映できるものについては検討していきたい。また、説明会などの方法については、どのような形で報告するか今後検討していきたい。

〜その他の質問〜
・上尾運動公園・水上公園について



無会派

深山 孝

新図書館複合施設の役割 や充実は

問 新図書館建設は、図書館資料や閲覧席の充実はもとより、複合施設とすることで、本の貸し出しだけでなく、図書館機能の充実を図ると聞いている。青少年センターとの複合化で、これまでにはなかった図書館事業の開催や、市民に喜んでもらえる生涯学習の場を提供できるようにするべきと考える。新図書館複合施設の役割や充実について、市の考えを伺いたい。

答 デジタル化で情報が容易に入手できる時代となり、子どもの読書離れが話題となっているが、読書は子どもの豊かな心を育む力を培うものと考ええる。図書館では、子どもの読書活動推進の基盤作りを進めているが、さらに図書館への興味を喚起し、本の楽しさや大切さを伝えていくことが図書館の大切な役割と考える。

また、市内で活躍するさまざまなグループに図書館を利用していただくことで、活動の支援ができると考える。多くの人々の活動に

役立つ情報発信拠点となり、「知の拠点」「コミュニティの拠点」「生涯学習の拠点」としても充実を図っていききたい。

・その他の質問
・財政課題について
・都市基盤整備について



日本共産党
上尾市議会議員
糟谷 珠紀

新図書館建設を急ぐ理由

問 大きな事業予算を抱える図書館は「市民とともに歩む」と掲げている。行政と住民の話し合いは、手間暇がかかり、場合によっては決裂することもある。図書館は老若男女、誰でも使える開かれた公共施設であり、行政は利用者ニーズに答えた方がより良い施設を造ることができると考える。市長が選挙で出したチラシにある「なぜ新しい図書館をつくるのか」という問いに対して「図書館建設は急務である」と答えている。その意味を伺いたい。

答 現図書館は、昭和56年6月に開館し、老朽化に加えて、閲覧席、学習室の不足の他、高齢者や障害者など誰もが利用しやすい施設と

は言えない状況である。人口の増加とともに蔵書数が増えるにつれて図書館は狭くなり、開架・閉架書架ともに資料の収容能力は限界に達している。生涯にわたる学びの支援や文化創出の礎となる新図書館の建設は、市の長年の懸案であり急務と考えている。

・その他の質問
・市長の政治姿勢について
・北上尾駅一部時間帯の無人化について



新政クラブ
大室 尚

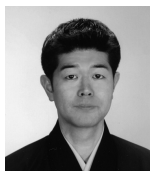
シティセールスのターゲットと方策の進め方は

問 シティセールスは、都市としてのイメージや知名度を高め、都市の活性化が図られることを目指し、本市が持つ魅力を市内外に効果的かつ戦略的に発信するための方策の一つである。市のシティセールス戦略の概要について、魅力発信の対象と理由、セールス推進方策を伺いたい。

答 シティセールスの究極の目標は定住人口の確保であり、そのために、子育て世代、特に20〜30歳代をターゲットとし、この

世代を定住につなげる事業を推進することが重要である。その推進方策としては、進捗状況を正確に把握し、状況の変化に的確に対応するための推進体制を確立することが必要である。また、市民が市の魅力や地域資源を再発見・再評価し、誇りや郷土愛を醸成するよう魅力を創出する取り組みも必要である。また、情報発信の強化がますます重要であると認識しており、既存の広報メディアにとどまらず、マスメディアなどの有効活用や「キラリ☆あげおPR大使」を活用していく考えである。

・その他の質問
・地域資源リサイクル推進について



「キラリ☆あげおPR大使」



上尾政策フォーラム
浦和 三郎

シティセールス戦略の推進と 地域創生総合戦略との関連は

問 平成 28 年度、市はどのようにシティセールスを推進していくのか。具体的なプロモーション事業について伺いたい。さらに「上尾市シティセールス戦略」と「上尾市地域創生総合戦略」との関連付けについて伺いたい。

答 平成 28 年度は「(仮称)シティセールス推進員会議」を組織し、進捗状況の管理や情報提供を行い、職員が市の魅力向上を意識して行動するための体制を整備する。プロモーション事業では、人気ガイドブック「ことりつぷ」の上尾版やスマートフォン用アプリを作成し、女性や子育て世代を対象を絞った活動を展開する。さらに、JR 上尾駅東口ペDESTリアンデッキに情報発信モニターを設置し、市のイベントや地元商店街の CM を放映し、情報発信の強化を図る。「上尾市地域創生総合戦略」は、人口減少を緩和するため「上尾市地域創生長期ビジョン」で定めた目標値を実現するために実施すべき施策

策についてまとめたものであり、「上尾市シティセールス戦略」は「上尾市地域創生総合戦略」で掲げた施策をより効果的かつ効率的に実施していくための手段という位置付けである。



上尾政策フォーラム
町田 皇介

行財政改革は市民の理解 を得る丁寧な対応を

問 厳しい財政見通しの中で、持続可能な行財政運営を行うっていく上では、税金や手数料の値上げ、既存事業の縮小・廃止、保育所や学校施設などを含めた施設の統廃合が想定される。これは、市民にとって喜ばしいことではないが、市の将来を考えると、事業選択の中で、そうせざるを得ないものが出てくると思う。市民の皆さんに、今後の見通しも含めた市の状況を十分に認識いただき、できる限りの理解を得るための丁寧な対応と努力がより一層必要になると考えるが、市の見解を伺いたい。

答 新たなマニフェストにも掲げているように、財政の健全化は次代を担う子どもたちのために最重要事項と認識している。そのため

には、市民の皆さんにもご協力をいただかねばならない。上尾の輝かしい未来のため、市役所の透明化を進め、分かりやすい財政状況の公表に努めるなど、市民の皆さんに十分に理解をいただきながら、行財政改革を断行してまいりたい。
・その他の質問
・(仮)戸崎東部公園について

◆子育て・教育



公明党上尾市議団
橋北 富雄

正しい主権者意識の育成を

問 主権者教育の副教材作成に協力した東洋大学助教は「投票行動も体験できる出前授業の実施は評価できる。政治的中立性の確保では多様な意見を示すことが重要である」と指摘している。学校における政治的中立の確保について伺いたい。また、公職選挙法には、教育上の地位を利用して選挙運動を行うことはできないことが規定されている。学校で模擬選挙を行う場合、その結果を公表する際には、どのような点に注意をする必要があるか伺いたい。



模擬選挙の様子 (イメージ)

答 学校における政治的中立の確保とは、特定の政党を支持させるような教育を行わないことである。このことは「義務教育諸学校における教育の政治的中立の確保に関する臨時措置法」に規定されている。教員は、その言動が児童生徒に与える影響が極めて大きいことから、常に政治的中立を確保しなければならぬ。また、学校で実際の選挙と合わせて模擬投票を行う場合、公職選挙法上の人気投票に当たらないため、模擬選挙の結果を公表する場合には、当選確定後に行うように注意し、正しい主権者意識を育成することが重要である。

・その他の質問
・市民の健康を守る予防ワクチン

の現状について
・道路の安全対策について



公明党上尾市議団
戸野部 直乃

上尾版子育てアプリの開設を

問 「上尾市子ども・子育て支援に関するアンケート調査」によると、子育てに関する情報の入手先は、1番目に家族・知人・友人、2番目に学校・保育園・幼稚園、その次にインターネットが多く利用されている。市民意識調査でも「地域情報ウェブサイトで知りたい情報」との問いに対し、10〜30歳代の子育て世代では、「子育て情報関連」という答えが高い割合であった。子育て世代に広く普及しているスマートフォンを使い、イベント情報や予防接種のお知らせ通知などを受け取れる「上尾版子育て応援アプリ」の開設を提案するが、市の見解を伺いたい。

答 「上尾版子育て応援アプリ」の開設について、アプリの機能性や利便性は理解するところである。現在運用している子育て情報の発信手段との関係や、費用対効果などの整理すべき課題があることか

ら、他市の状況などを踏まえて研究していきたい。
・不審者情報の共有について
・その他の質問



日本共産党
上尾市議会議員団
池田 達生

安全な小学校通学路を

問 大谷小学校正門から県道川越上尾線につながる通学路について、複数の保護者から安全確保の改善要望が出されている。先日、歩いて確認したところ、道路は狭く、カーブで見通しが悪く、路面標識も薄くて見えない。交差点近くに電柱や障害物があり、すぐ脇を車が走るととても危険な状況であった。この道路は、昭和37年に都市計画道路に指定されたが、実施予定を伺いたい。また、どのような安全対策をとっているのか伺いたい。

答 都市計画道路の事業実施には、用地の買収や家屋の移転など関係者の理解と協力が欠かせない。さらに、膨大な事業費が必要となるため直ちに事業化できず、現時点での整備予定はない。また、当該道路は、スクールゾーンとして車両通行規制があり、朝の登校時間

には一般車両の通行を制限し、児童の安全を確保している。通常の時間帯においても速度を落とした通行の呼び掛け、地元ボランティア・PTAの協力による児童の引率や見守りを行うなど、学校と地域が連携して交通安全運動に取り組んでいる。

・その他の質問
・（仮称）戸崎東部公園のパークゴルフ場化について



大谷小学校通学路の様子



日本共産党
上尾市議会議員団
秋山 もえ

学校給食で使う箸は市で購入を

問 小学校入学を控え、学用品の

準備はかなりの負担となり、PTA会費と教材費を合わせると年間1〜2万円掛かる。兄弟がいれば教材費は倍になり家計を圧迫することになる。

ある小学校の保護者から、学校給食で子どもたちが使う箸の購入をPTAで負担しなければならぬのかとの質問をいただいた。スプーンやフォークは予算を取り、市で購入しているのに、箸については各学校で対応が異なり、しかも保護者負担を前提としているようである。本来、箸の購入はその性質からいって、学校の消耗品費で対応すべきと考えるが、市の見解を伺いたい。

答 給食に使用する箸の購入費については、保護者から直接徴収する学校や、PTA会費の中から支出している学校がある。市内の小学校では、米飯給食が増加したことにより、箸の使用を学校ごとに取り入れ、現在に至っている。学校の消耗品費で箸を購入することについては、今後、各小学校の状況を踏まえ検討していきたい。

・その他の質問

・高すぎる国保税の引き下げを
・大規模児童の解消と学童保育料の軽減を



無党派
秋山 かほる

子どもたちの給食に上尾産のお米を

問 保護者が支払っている食料費を地域経済振興に結び付けられないかと考える。これは子どもたちにとっても生産者にとっても好ましいことであるが、子どもたちが上尾で収穫した米を食べることに関して、現状の問題点は何か、食育と地産地消の観点から伺いたい。小学校では給食室の問題があるが、中学校では量と質の折り合いがつけば難しくないと考える。生産者との話し合いを模索することについて市の見解を伺いたい。

答 食育と地産地消の観点からは、身近な地域で収穫された食材を利用することで、児童の食への興味・関心が高まることが期待される。また、地域の自然や文化、産業などに関する理解を深め、生産者の努力や食に関する感謝の念を育む上で重要である。物理的な課題としては、小学校で米飯給食の回数が増えた場合の炊飯設備や、上尾産米の量と安定した品質の確保などが考えられる。これらの事に関

係機関と協議することは大切なことであると認識している。
〜その他の質問〜

・介護保険改正に伴う上尾市の考えと今後の取り組みについて



新政クラブ
星野 良行

午睡用ベッド導入で保育環境の整備は

問 市では、全ての公立保育所に午睡用ベッド、いわゆるお昼寝用のベッドを導入し、衛生面を充実させ保育環境を整備することだが、衛生面を充実させようと考えた理由と、ベッドの効果について伺いたい。また、午睡用ベッド導入が、総合戦略の「子育てしやすいまちづくり」に、どのようにつながっていくのか伺いたい。

答 保育所ではこれまで、アタマジラミやノロウイルスなどさまざまな感染症が毎年発生しており、集団保育における衛生管理対策のさらなる充実が必要と考えた。午睡用ベッドは床から10cmほどの高さがあり、床に直接触れないため、ほこりを吸い上げずアレルギーの原因となるダニなどの繁殖を防ぎ、さまざまな感染症の拡大も防止で

きる。また、午睡用ベッド導入により、他の自治体に比べ、保育サービスが向上し、子育て環境が高まることで、総合戦略にある「若い世帯が上尾市に住みたい、住み続けたいと思えるまちづくり」に近づけていけるものと考えている。

◆くらし
・水害のないまちづくりについて



新政クラブ
田中 一崇

全ての通勤快速をJR上尾駅停車に

問 JR上尾・北上尾駅とも立派な駅舎となり、市民に大変使いやすいとなった。しかし、19〜21時台の下り通勤快速が通過してしまっていることは、市民感情としても、利用者の利便性からも問題があると思う。市は、今までのような働き掛けを行ってきたのか。また今後、陳情など、どのように働き掛けていくのか伺いたい。

答 JR高崎線通勤快速の上尾駅停車については、多くの要望をいただいている。上尾市鉄道輸送力増進推進協議会では、長年にわた

り要望活動を行ってきた。その成果として、平成16年10月のダイヤ改正から、午後10時台の下り2本が停車することになった。

去る2月29日に協議会会長である島村市長が、全ての通勤快速の上尾駅停車、高崎線と宇都宮線の始発の繰り上げや終発の繰り下げ、通勤通学時間帯の増発など、利便性のさらなる向上を求め、JR東日本高崎支社に要望書を提出した。今後も本市における鉄道輸送力の増強について、JR東日本に対し、粘り強く要望していきたい。

〜その他の質問〜
・市民の安全な生活について
・小学校の諸問題について



JR高崎線の通勤快速

◆健康・福祉



日本共産党
上尾市議会議員団
平田 通子

子どもの貧困をなくす学習支援と就学援助制度を

問 アスポート教育支援の拡充を要望してきた。市長マニフェストでは、「ひとり親世帯まで教育支援を広げる」とあるが、計画について伺いたい。また、就学援助制度の改善や認定基準を見直したことにより、援助から外れた人数と負担増となる金額を伺いたい。貧困をなくすため、認定基準の見直しを求めるが見解を伺いたい。

答 今年度から、ひとり親家庭を含む生活保護世帯を対象に、生活困窮者自立支援制度による学習支援を実施している。現段階では、

会派の変更

平成28年3月30日付
けで、野本順一議員が
新政クラブを退会し、
無会派となりました。

その運営状況の推移を注視しているところであり、ひとり親家庭全体を対象とした実施に向け課題を整理し、調整を図る必要があると考える。

平成27年度の就学援助不認定の児童生徒は14人であった。子ども2人を持つ4人世帯で、持ち家、世帯所得295万円の例では、認定基準を見直す前は受給できたが、見直した後は不認定となり、子ども2人の年間負担額は約13万円と見込まれる。就学援助制度の趣旨を踏まえ、認定基準を据え置く形で検討しているが、経済的な理由で就学が困難とならないよう取り組んでいく。

- その他の質問
- ・市民活動の推進を
 - ・健康づくりの強化を



上尾政策フォーラム
池野 耕司

アツピー元気体操参加者の状況は

問 アツピー元気体操は、平成18年度から実施しており、こととして10年目を迎える。運動習慣で健康を維持し、人生を楽しむことを目標とした介護予防事業であり、高



アツピー元気体操の様子

齢者の健康増進の体操である。参加者の男女別平均年齢を伺いたい。また、参加したいと思いつながらも参加できない待機者について、市内の地域別状況を伺いたい。

答 ことし1月末現在の参加登録者2340人のうち、男女の内訳は、男性が165人、女性は2175人であり、女性の占める割合が9割を超えている状況である。

平均年齢では、男性が79・9歳、女性が76・1歳であり、平均で78・1歳である。また、ことし1月末現在の地区別待機者の状況は、上尾地区が35人、平方地区が6人、原市地区が9人、大石地区が5人、上平地区が6人、大谷地区が9人となっている。市全体では19会場

に70人の待機者となっている。
その他の質問

・上尾市国民保護計画について



日本共産党
上尾市議会議員団
新藤 孝子

要支援1・2の方へのサービステキホームの増床は

問 平成29年4月から、介護保険制度の一部事業が総合事業へ移行されるが、要支援1・2の方のサービスの受け皿はどこを想定し、サービスは継続して受けられるのか伺いたい。また原則として要介護3以上でなければ特別養護老人ホームに入所できないのは、大変大きな問題であり待機者も解消されない。特別養護老人ホームを増やす必要があると思うが、市の見解を伺いたい。

答 サービスの受け皿については、既存の訪問介護や通所介護の事業所を基本としつつ、ボランティア主体のサロンや助け合いサービスを受け皿として想定している。現在、要支援者が利用している訪問介護や通所介護のサービスについては、継続して受けられるものと考えている。また、特別養護老人ホームは、第6期の介護保険計画

では160床の増床を計画しており、さらに待機者の解消を図るため、60床を追加し、新設の2カ所を含む220床の増床を予定している。

↳その他の質問↳

- ・原市地区にみんなが集える公園を



公明党上尾市議団
道下 文男

をつくし学園新施設の整備

問 つくし学園は年々園児が増えており、つくし学園母の会からは、さまざまな要望があると聞いている。週5日通園できない状況を解消するための取り組みについて伺いたい。

また、通園時間の短縮、待機児が出ないよう定員の拡大のために新たな施設の整備が重要であると考えますが、市の見解を伺いたい。

答 つくし学園は、平成27年度に途中入園の児童などを受け入れたことにより、週5日通園できない児童が出た。平成28年度も入園希望が多く、定員を超えることが予想されたため、週5日の通園を保障する体制として発達支援相談セ

ンター内に分室を整備した。また、新たな施設については、通園バスの長時間乗車などの課題や、さまざまな要望をいただいていることから、今後検討していきたい。

↳その他の質問↳

- ・防災士による防災力向上施策
- ・軽度外傷性脳損傷(MTBI)への対応普及について 他



整備が進むつくし学園分室

◆環境・産業



新政クラブ
小川 明仁

市内中小企業の振興について

問 市内の中小企業の発展と成長は、雇用の創出による消費活動の

喚起、地域経済の安定、更には税収入につながり、まちづくり全体に波及する効果が期待できると考える。

このように中小企業が果たす役割の重要性を鑑みると、受注の機会の増大も含めた総合的な支援を行い、中小企業振興のために自治体としての責務や役割を明確にした条例の制定を提案したいが見解を伺いたい。

答 中小企業振興を目的とした条例の制定の目的やメリットとして、中小企業支援に対する考え方や中小企業振興を進めるといふ自治体の姿勢を明確化できること、その姿勢の連続性を担保できることが挙げられる。市では産業振興ビジョンの策定後、産業振興会議を設置し、市内産業振興施策の検討と取り組みを行っている。今後も引き続き産業振興会議での検討を基に、市内産業振興に向けた取り組みを着実に積み重ねていくことが重要であると考えます。こうした中、条例制定への機運の高まりがあれば、対応していくことも必要と考えています。

↳その他の質問↳

- ・消防について
- ・会計管理について

☆請願・陳情は このように

請願や陳情を市議会に提出する場合は、次の要領で作成し、あて名を市議会議長として議会事務局へ提出してください。

- ①請願の件名(〇〇に関する請願)
- ②要旨と理由(内容は簡単明瞭にして、道路・側溝など場所に関する

ものは、略図を添えてください)

- ③請願者の住所、署名または記名押印(多数の場合は必ず代表者を決めてください)
- ④請願は1人以上の議員の紹介が必要で、議員の署名または記名押印を受けてください(陳情の場合も要領は同じですが、紹介議員は必要ありません)

※請願・陳情はいつでも受け付けしていますが、上尾市議会では定例会開会の6日前までに提出された請願は、その定例会で審査しています。

詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

議会事務局議事調査課
(TEL 775-9467)



6 月定例会日程(案)

- 6 月 10 日 開会、質疑、委員会付託
- 14 日 委員会 (総務、都市整備消防)
- 15 日 委員会 (文教経済、健康福祉)
- 17 日、20 日、21 日、22 日、23 日 一般質問
- 27 日 閉会

※開議時間は午前 9 時 30 分を予定しています。

委員会活動 H28.1.16~H28.4.15



▲健康福祉常任委員会の様子



▲総務常任委員会の様子

* 次回の 6 月定例会は、6 月 10 日(金)に開会の予定です。

請願、陳情、要望の提出期限は、6 月 6 日(月)までとなります。

上尾市議会ではインターネットを利用した議会中継(ライブおよび録画)を行っております。

詳しくは、議会事務局(☎775-9467)へお問い合わせください。

上尾市議会HPアドレス
<http://www.city.ageo.lg.jp/site/shigikai/>

議会報編集委員会

- 委員長 斎藤 哲雄
- 副委員長 鈴木 茂
- 委員 新道 龍一
- 委員 田中 一崇
- 委員 尾花 瑛仁
- 委員 小川 明仁
- 委員 戸野部直乃
- 委員 池田 達生

委員会名	月・日	案 件
総務常任委員会	3/3, 4	・ 3 月定例会提出議案 16 件を審査
文教経済常任委員会	3/7, 8	・ 3 月定例会提出議案 4 件を審査
都市整備消防常任委員会	3/3	・ 3 月定例会提出議案 14 件を審査
健康福祉常任委員会	3/7, 8	・ 3 月定例会提出議案 11 件を審査
議会運営委員会	2/22 2/25 3/22	・ 議会運営について協議 ・ 議会運営について協議 ・ 議会運営について協議
議会報編集委員会	1/19 3/14	・ 「あげお議会だより No.175」 の内容について協議 ・ 「あげお議会だより No.176」 の内容について協議

一意見書 2 件を原案可決一

3 月定例会最終日の 3 月 22 日、議員提出議案として意見書 8 件を提出し、2 件を可決しました。可決した意見書の件名と提出先は次のとおりです。

◆軽減税率の円滑な導入に向け事業者支援の強化などを求める意見書

提出先⇒内閣総理大臣 財務大臣 経済産業大臣 衆議院議長 参議院議長

◆児童虐待防止対策の抜本強化を求める意見書

提出先⇒内閣総理大臣 厚生労働大臣 文部科学大臣 法務大臣 総務大臣
 国家公安委員会委員長